

# 外郭団体に関する特別委員会行政調査報告（平成30年度）

外郭団体に関する特別委員会委員長 藤 本 浩 二

## 1. 日程

平成30年12月17日（月）～12月18日（火）

## 2. 調査項目

- (1) ホルトホール大分について（大分市）
- (2) 北九州市のMICE誘致について（北九州市）

## 3. 委員長所見

- (1) ホルトホール大分について（大分市）

### 【大分市基本情報】

大分市は大分県のほぼ中央、扇状地域の要に位置し、南は臼杵市及び豊後大野市、西は別府市、由布市及び竹田市に接している。

#### 1. 人口等

○住民登録人口（H30. 3. 31 現在）	478,222 人
・男	229,604 人
・女	248,618 人
・世帯数	218,643 世帯

#### 2. 市の概要

○都市形態 商工業市

#### 3. 産業指数

○農業（H27年農林業センサス）	
・農家戸数	4,281 戸
・耕地面積	2,126 h a
○工業（H28年経済センサス活動調査：従業員4人以上）	
・事業所数	410 所
・従業者数	20,364 人
○商業（H28年経済センサス活動調査：卸売業＋小売業）	
・商店数	4,197 店
・従業者数	37,483 人

### <ホルトホール大分>

- 竣工年月 平成 25 年 7 月
- 総事業費 126 億 200 万円
- 構造 鉄骨造一部鉄骨鉄筋, コンクリート造  
地上 4 階, 地下 1 階
- 大ホール 1, 201 席(1 階 : 721 席, 2 階 : 230 席, 3 階 : 250 席)
- 小ホール 202 席(移動席 : 82 席, ロールバックチェア : 120 席)
- 敷地面積 18, 964. 14 m<sup>2</sup>
- 延床面積 36, 904. 66 m<sup>2</sup>
- 特徴 文化, 福祉, 健康, 教育, 情報, 交流, 産業と 7 つの機能を備えた複合文化施設。

市民ホール, 大分市総合社会福祉保健センター(人権啓発センター, 子育て交流センター, ひとり親家庭支援プラザ, シニア交流プラザ, 障がい者福祉センター, 健康プラザ, 会議室等), 大分市民図書館, 大分市産業活性化プラザ, 大分市桜ヶ丘保育所等を備えている。

市として初となるネーミングライツ・スポンサーを募集し, 平成 30 年 4 月から通称が「J : COMホルトホール大分」となっている。

#### ○指定管理施設における利用者数(平成 27 年度～平成 29 年度平均)

・大ホール	212, 319 人
・小ホール	60, 274 人
・スタジオ	15, 548 人
・会議室	339, 600 人
・健康プラザ	78, 498 人
・障がい者福祉センター	82, 152 人
・産業活性化プラザ	43, 463 人
・ひとり親家族支援プラザ	2, 783 人
・駅南キッズステーション	10, 231 人
・カフェレストラン	28, 821 人
—合計	873, 692 人

### <大分市市民図書館>

ホルトホール大分内に新設された市民図書館は, 約 4, 500 m<sup>2</sup>の面積と約 60 万冊の蔵書規模の図書館であり, 1 階・2 階とも各施設の利用者も気軽に立ち寄れる場として多くの市民が集い, 学び, 憩い, 交流する場として読書を通じたくつろぎの空間を創出しており, また, 自動貸出機, 自動返却機, 自動返却仕分け機, 自動出納書庫等を整備し, 最先端のサービスを提供している。

## <障がい者福祉センター>

### ○1階

- ・福祉交流ひろば

高齢者、障害者や子供の交流の広場として利用する体育館施設。車椅子バスケットボールなどの障がい者スポーツや高齢者の卓球などに利用可能。

### ○3階

- ・障がい者機能回復訓練室

障がい者の運動機能の維持を図ることを目的とした施設。

- ・障がい者生活支援センター

相談支援事業所が市内に住所を有する障がい者(児)とその家族等の相談を受け付けるセンター。

- ・障がい者福祉用具体験室

車椅子等の補装具の試用を行う施設。

- ・ウォーキングプール

障害者や高齢者等の方が運動機能維持のために利用する水中歩行専用のプール。

(一般の方も利用可能。利用料：障がい者無料，一般1回100円)

- ・障がい者福祉用具展示相談室

車椅子や補聴器などの補装具や日常生活用具の展示・相談に対応する施設。

- ・障がい者交流室(作品展示コーナー)

障害者の方やご家族，一般の方との交流と情報交換の場。

作品展示コーナーでは市内の障害福祉サービス事業所等が作成した作品や物品の展示・販売を行っている。

- ・むくどり文庫(点字図書館)

点字図書の閲覧・貸し出し(平成25年3月末時点蔵書数は772タイトル, 3,679冊)。

視覚障害者のための情報発信，点訳ボランティアの養成，アイ・サービスなどの各種事業を行っている。

- ・シニア交流プラザ

65歳以上の高齢者が無料で気軽に囲碁・将棋などの余暇活動に利用できる。

- ・その他 人権啓発センターなどがある。

### <所見>

ホルトホール大分については「文化」「福祉」「教育」「産業」等多機能型複合施設ならではの多彩なスペースが用意されている。大分駅前の立地環境を考慮し、仕事終わりに利用できる公共施設ということで22時など夜遅くまで開館している。



また、JR大分駅を中心にして半径1kmの徒歩圏内にグランシアタ、コンパルホール、大分市美術館など既存ストックと機能連携、機能補完しながら中心市街地を交流機能集積拠点として活性化している。

また、市中心部の施設としての利便性があり、交通機関、宿泊施設、主要施設や公共機関が集まり、観光、食事等アフターコンベンションの環境にも優れている。

神戸市も三宮駅前の再開発事業を進めており、ホルトホール大分の市民ホールの運営状況等や自動返却機等のICシステムを積極的に導入した市民図書館など、参考にしていきたい。

## (2) 北九州市のMICE誘致について（北九州市）

### 【北九州市基本情報(平成30年4月現在)】

1. 人口 945,061人
2. 世帯数 427,891人
3. 面積 491.95km

#### <西日本総合展示場>

- 運営母体 公益財団法人 北九州観光コンベンション協会
- 主要展示施設 本館 展示面積 7,000 m<sup>2</sup> (有効天井高 10m)  
新館 展示面積 8,000 m<sup>2</sup> (有効天井高 13m)  
(本館の設計は磯崎新, 斜張ケーブル部分の構造設計は川口衛が行っている。)

無柱空間で構成された展示会場は、ニーズに応じて分割利用ができる設計で、床の強度は5 t/m<sup>2</sup> (集中荷重) で重量物の展示をはじめ、搬入・搬出作業等効率的に行える。

各種展示会が開かれているほか、冬期には本館の半分を使って屋内スケートリンク「北九州アイススケートセンター」が営業されている。

#### <北九州国際会議場>

- 構造 鉄筋コンクリート造・地上8階建, 地下1階
- メインホール 客席 524席, オブザーバー席 61席
- 3面スクリーン 200インチハイビジョンシステム  
リア方式で場内を暗くせずに、上映中に手元の資料を見たり、メモを取ることができる。
- 高輝度・高精細プロジェクター  
400インチの大型スクリーンに投射する20,000ルーメンの高輝度プロジェクターは医療用画像の投射など様々なニーズに応える事ができる。
- 場内カメラ
- 4か国語同時通訳設備
- 他に イベントホール, 国際会議室等

北九州市の「国際コンベンションゾーン」として位置付けられている新幹線小倉駅近辺には、ホテル等各種コンベンション施設が集積しており、多彩なコンベンション支援体制がある。

#### ○（公財）北九州観光コンベンション協会の支援体制

- ・ 会議，大会，見本市，展示会，イベント等の企画から実際の運営までの支援サービス
- ・ 規模，予算に応じて，最適な会場プランを作成し，概算見積や仮予約を行う。
- ・ P C O，広告代理店，会場設営，使用機材，印刷物など関連サービス企業の紹介，コーディネートを行う。
- ・ 宿泊施設を割引料金で提案。
- ・ 会場周辺の地図，会場図面，アクセス情報の提供。
- ・ 市政・経済記者クラブへのプレスリリースや広報誌掲載の提案。
- ・ 郷土芸能やアトラクションの紹介，アフターコンベンションの案内。
- ・ 各種パンフレットやマップなど参加者向けの資料の提供。

#### ○助成金制度

- ・ 九州規模以上の学会，大会，会議等で，営利活動等を目的としないものについて開催助成金が受けられる。

#### <北九州市のM I C Eについて>

#### ○実績

- ・ 過去3年間の国際会議の開催件数

H27年        86件    (全国順位 11位)

H28年        105件   (全国順位 10位)

H29年        134件   (全国順位 8位)

#### ○近年の国際会議開催実績

- H29年
- ・ アジア管理学会
  - ・ 構造物の損傷評価に関する国際会議
- H30年
- ・ G7北九州エネルギー大臣会合
  - ・ 第2回ワンヘルスに関する国際会議
  - ・ 第3回アジア未来会議
  - ・ 2016 国際ゴム技術会議

#### ○M I C E誘致の取組

- ・ 会議主催者となるローカルホストとの連携強化  
地元でのM I C E開催のホスト役となる大学教授等とのネットワーク拡大を図るため，顔の見える関係の構築。
- ・ 大学連携  
地元の4つの大学（九州工業大学，九州歯科大学，北九州市立大学，産業医科大学）と市・コンベンション協会とでコンベンション誘致や開催に関する連携協定を締結。

- ・ローカルホストとの交流

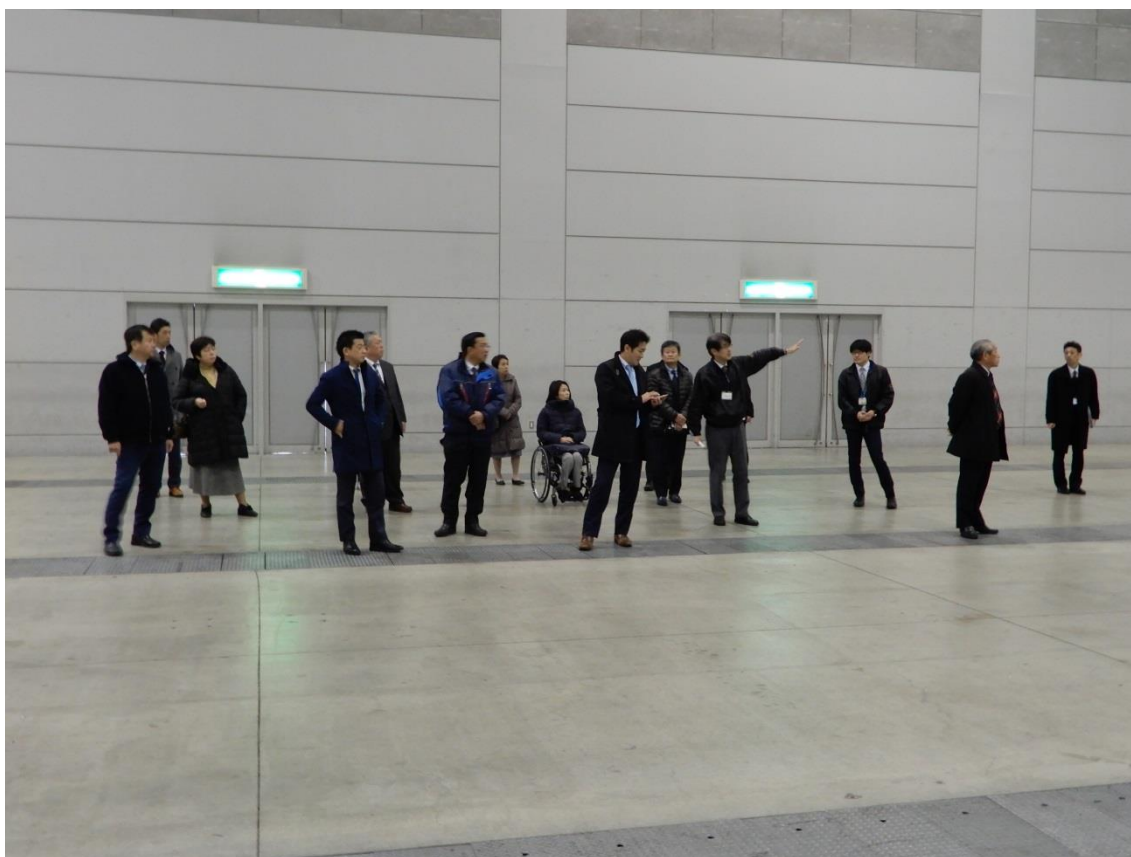
ローカルホストとなっている地元大学教授等を招待し交流会を実施するとともに、首都圏のローカルホストと交流するため、東京でも交流会を実施。

- ・地元MICE関係者との連携強化

平成28年8月に、地元のMICE事業者である市・コンベンション協会とホテル・旅行社の民間企業等で「北九州グローバルMICE推進協議会」を設立。MICE情報の共有や開催支援を実施し、「チーム北九州」で一丸となってMICEを推進。

### <所見>

MICE開催は世界から企業や学会の主要メンバーが集うことで、関係者間でネットワークを構築し、新しいビジネスやイノベーションの機会を呼び込む事につながり、主催者、参加者、出展者等の消費支出や関連の事業支出は開催地域を中心に大きな経済波及効果を生み出す。また、MICE誘致は都市のイメージアップに大きく貢献することができる。



神戸市も平成29年「JNTO国際会議統計」の都市別国際会議の開催件数で過去最高の全国第2位(405件)となっており、今後もグローバルMICE都市・神戸として、施設整備をはじめMICE誘致のため、新たな取り組みをしていきたい。

以上